流山市 令和5年度 『総合政策部長の仕事と目標』

総合政策部長のビジョン(目指す姿・組織運営方針)



部長 須郷 和彦

総合計画の目指すまちのイメージ「都心から一番近い森のまち」の実現に向けて、「住み続ける価値の高いまち」の都市ブランドを確立するため、ブランディングをさらに進めてまいります。また、各課の実施する事業が最大限の効果を発揮できるよう総合計画の進行管理をはじめ、広報、広聴、マーケティング、ICTの活用、改善などの視点から、各部局と連携して取り組みます。

ビジョンとは「目指す未来像」であり、「組織運営方針」のことです。どのような組織を目指すのかを明らかにすることで、メンバーは共通の認識のもと、未来に向かって行動していきます。

流山市総合計画における主な取組み施策			
基本政策		施策名	
1	誰もが自分らしく暮らせるまち	共生社会	
2	計画を推進するために	行政経営	
3	計画を推進するために	マーケティング	

		な細長のこい、ことの知恵は今)	
	各課長のミッション(役割・使命)		
1	秘書広報課	・市長及び副市長の会議や行事への出席、関係各課との打ち合わせ、面会等、市政経営上の業務の補助を行います。 ・月3回発行する広報紙や、市ホームページにより、わかりやすくタイムリーに市政情報を提供します。 ・文書や電子メールにより、市民の意見等を幅広く収集するとともに、オンラインなどいろいるな方法でタウンミーティングを開催し、老若男女のいろいろな市民の声を直接伺います。 頂戴したご意見等は、所管課と連携して対応するとともに、新たな市政の課題を発見し市民サービスの質の向上に努めます。	
2	企画政策課	・市民ニーズや行政課題、社会経済情勢の変化、事業の進捗状況などを踏まえ、令和6年度当初予算と整合を図った令和6年度実施計画を策定します。 ・国勢調査に次ぐ大規模調査である令和5年住宅・土地統計調査(令和5年10月1日基準日)の正確かつ円滑な調査に努めます。 ・男女共同参画を推進するとともに、パートナーシップ制度の検討を進めます。	
3	マーケティング課	・「住み続ける価値の高いまち」を目指し、流山市のブランド確立を推進していきます。 ・市の魅力を主に首都圏にPRすることにより、流山市の知名度、イメージ向上を図り、住民 誘致へつなげます。 ・本市の魅力と返礼品を合わせてPRするほか、返礼品を提供していただける事業者・返礼 品の新規開拓や情報発信など、マーケティングの視点を用いながら事業を推進していきます。	
4	情報政策·改革改善課	・限られた経済的資源を有効活用し、市民サービスを向上させるため、これまでの市役所の仕組みや発想、仕事のやり方などを見直す様々な取組みを推進しています。 ・ICTを活用した行政サービスとして、電子申請やLINEを活用したサービスなどの推進・充実により市民サービスの向上を図るとともに、マイナンバーカードを利用したサービスの拡充に努めます。また、市民の個人情報等の安全管理を徹底するため、情報セキュリティ対策を一層推進します。	
5	工事検査室	・契約金額130万円を超える建設工事の適正な履行を確認するため、厳正かつ公平に工事検査を行っていきます。 ・建設工事の品質をより高めるため、受注者のみならず発注監督員への技術指導・助言を行います。	

ミッションとは、「その部門が果たすべき役割」であり、「組織使命・目標」のことです。各課の使命や存在意義を明らかにすることで、ビジョン達成のための新たな事業の創造や、選択の集中の判断基準となるものです。

			各係の改善チャレンジ
1		秘書係	·庁内外との密な連携を図り、市長及び副市長の事務の効果を最大化できるよう努めます。
2	秘書広報課	広報係	・広報紙はもとより、ホームページやSNSなどのメディアをより活用し、市の情報を迅速かつ正確に発信できるよう努めます。
3		広聴係	・市民の増加に伴い、多種多様な要望が増加してきていることから、電話相談できる体制を引き続き整えていきます。タウンミーティングは、多様な市民の声を受けられるように、会場、オンライン等複数の開催方法を計画していきます。
4	企画政策課	企画政策班	・根拠に基づいたデータを活用し、各種資料を作成するとともに、システムを活用することにより、概算要望や実施計画策定の際の各課等の負担軽減を図ります。 ・令和5年住宅・土地統計調査において、オンライン回答を推進するなどして、調査員の負担軽減や調査客体の利便性向上を図ります。
5		男女共同参画室	·男女共同参画に加え、性の多様性についても男女共同参画推進本部研究会や市民向け講演会で取り上げ、職員や市民への理解促進を図ります。
6	マーケティング課	マーケティ ング係	・流山市のブランド確立のための情報発信について、より効果的な情報発信に 努めます。 ・流山市ふるさと納税について、効率的なふるさと納税業務の実施を図ると 共に、本市の魅力発信、及び市内産業の活性化、寄附額の増加に努めます。
7	情報政策·改革改善課	仕事カイゼン係	・改革・改善を推進する役割として、職員の効率的、効果的な事務執行を後押しするための取組を実行し、市民サービス向上のための業務に集中できるように努めます。
8		IT政策·セ キュリティ係	・ICTを活用した新たな市民サービスの導入を検討していきます。導入にあたっては、庁内で連携し、効率的な運用に努めます。また、情報セキュリティ機器の更新や市セキュリティポリシーの見直しを行い、情報管理の一層の強化を図ります。
9	工事検査室	工事検査係	・週休2日を見据えた適正な工期の確保と受注・完成時期を平準化するための 複数年契約等を継続的に促していきます。 ・法令等や仕様の改正について、随時発注監督員と情報共有を図ります。 ・優良建設工事と優秀技術者の表彰対象が多岐にわたるよう建設工事の技術 向上に努めます。

	各課の市民サービス向上の取組み			
1	秘書広報課	・庁内外との密な連携を図り、表彰や面会等がより一層有意義なものとなるよう努めます。 ・広報ながれやまにおいては、市民に分かりやすい用語を使用するとともに、記事の配置や 文字の大きさ等に配慮し、読みやすい紙面の作成に努めます。 ・市民からのご相談を受ける場面では、相手の立場に立ち、丁寧にお話を伺います。		
2	企画政策課	・各部局等による新規事業の立ち上げの際、当該事業において、効果的な市民サービスの向上が図られているかを確認します。 ・より有益な統計データを市民の皆様へ提供するため、各種統計調査や各課等からの資料を基に、オープンデータやホームページの更新を行います。 ・男女共同参画社会や多様性を尊重する社会の形成に向け、市民を対象とした講座や講演会を開催するとともに、複数の媒体を通じて情報提供を実施します。		

3	マーケティング課	・住民誘致につながる市のイメージ向上と都市ブランド向上のための情報発信を行います。 ・あらゆるメディアを有効活用し、市の知名度とイメージの向上を図り、流山市のブランド確立を推進していきます。
4	情報政策·改革改善課	・「流山市経営改革プラン」に則り、市民サービスの向上につながる効率的な行政経営と改善運動を推進します。 ・パソコンやマイナンバーカード対応のスマートフォンを持っていない市民に対して、職員等がマイナポイントの手続きのサポートを行います。また、デジタル機器の操作が苦手な方にもオンライン手続等を利用していただけるようにするため、国の支援事業等について調査研究しながら、講習会等の開催を検討していきます。
5	工事検査室	・より安全で品質の高い公共施設を市民の皆様へ提供するため、受注者と発注者への技術 指導を行います。 ・建設する公共施設を一日でも早く市民の皆様へ提供するため、迅速な工事検査を行いま す。

	各課の環境への取組み				
	課名	前年度の評価	今年度の取組み		
1	秘書広報課	・広報発行業務における古紙100%配合の再生紙や、植物性インキの使用により環境に配慮した発行を実施しました。 ・庁内各課連絡について、可能な限り電子データ等を活用りし、ペーパーレスに努めました。	することにより、古紙100%配合の再生紙を使用に努めます。 ・広報印刷業務では、「ゼロカーボンシティ」		
2	企画政策課	・昼休みの消灯や離席の際にパソコンをスリープ状態にし、電気の使用量削減に努めました。 ・印刷やコピーを必要最低限にし、紙の使用量削減に努めました。	・消耗品等の購入の際は、グリーン購入適合品を購入するよう努めます。 ・印刷時には、両面印刷や集約印刷等を行い、紙の使用量削減に努めます。		
3	マーケティング課	・印刷時の両面印刷の徹底、情報の電子データ化を図り、紙使用量の削減に努めました。 ・離席時のパソコン休止や、昼休みの消灯などの節電に努めました。 ・イベント実施時におけるゴミの分別の徹底及び総排出量の抑制を図りました。(出店業者への啓発、会場設営時の工夫等)。	·可能な限りペーパーレス化を図り、紙の使用量削減に努めます。 ·備品や消耗品の購入にあたっては、積極的にグリーン購入対象品を購入します。 ·両面印刷や集約印刷を活用し、必要最低限の紙使用にとどめます。		
4	情報政策·改革改善課	・備品や消耗品の購入にあたっては、積極的にグリーン購入対象品を購入しました。 ・会議資料を簡素化し、印刷物の削減に努めました。	・印刷機の両面集約機能により、無駄な印刷の削減を推進します。 ・グループウェア各課連絡の電子承認機能や回覧機能を活用し、印刷の削減を推進します。		
5	工事検査室	・建設副産物の適正処理について工事検査時 に指導・助言を行いました。 ・環境負荷の低い建設機械の周知に努めました。	・建設資材のリサイクル品利用と発生する建設副産物の再生資源化促進について指導します。 ・両面、編集、電子印刷を行い紙や電力の減量に努めます。		